

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	職員全員で理念を作った	今が一番館の職員全員参加で作り上げた
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念は開所当時、職員全員参加で作ったもので、周知し実践している	内容を日々確認できるよう、ホーム内に掲示してある
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	日々の暮らしの中で 又、ケアプランの中で理解していただいている	パンフレットを始めホームページ等に掲載している
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	線路を挟んでの立地条件にハンディがあることも気にならない程の来客(ボランティア)万来である	村への広報、回覧で施設の行事のお知らせ
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の子供会との交流、公民館に花を植えたり、敬老会等へのお誘いも頂いたり、お祭りにも参加している	地元の中学生、保育園児の交流

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	子供会へダンボール・新聞紙の収集に寄与している		実習生の受入
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をする事で、職員一人ひとりが自分のホームを見直している		引き続き検討中
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で話し合われた事等の取組みを提供し、それについての評価もして貰っている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの空き状況を常に公開し、行政からの入所要請等にも対応している		介護相談員の受入をしている
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	施設長が民生委員ということもあり、年に何度か研修会、講習会で学び、職員に伝えている		個々に資格試験取得の勉強の中に入っている
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	地域にいる被虐待者に手を伸ばす事があっても、当ホームは皆無		被虐待者を受け入れている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		入所退所いずれの場合でも、関係者とよく話し合い、情報を交わしている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者はザックバランに話せる雰囲気であり、訴えやすい環境である	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月その月の計画・評価をし、月初めに家族への報告等をしている	面会時、遠距離に居る家族には手紙で報告
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	計画を示した折、必ず家族には意見意向を伺うようにしている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員全員参加の勉強会を開き、その場で必要・要望等も話し合ってもらっている	行事・レク等は、職員のアイディア意見等をもとに行っている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務形態はあるが、職員同士が話し合いで対応している	現在の勤務時間は利用者の生活リズムに合わせて決めたものである。突発的な出来事に関しては時間外勤務での対応
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動はない(出産・育児の為は別→本人と話し合い納得してもらっている)	仕事への意欲、向上心を持って働ける様又、定着できる様、環境整備に努めている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政の行う研修やトレーニングに職員を出している	勤務年数・実務経験を考慮し、研修を受けている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH同士の交換研修や毎月の定例会で交流をはかっている	社内研修の認知症疑似体験、救急救命講習を村内のGHへ通知し参加してもらった
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	折々に訴えを聞く	無理なシフトを作らない、話し合う等、勤務環境作りをしている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得の為の勉強が向上に繋がる様努めている	職場で所有している図書を、職員に貸し出している
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	センター方式を参考にし、その上にしっかり観察記録している	入所前に利用者の面接をしている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安、ホームへの期待・希望等をよく聴き受け止めている	センター方式によるアセスメントを行う事で家族に寄り、利用者、ホームとの関係を密にしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	隣接しているデイサービスの利用等、考慮に入れている		利用者に適した支援を見極め対応している
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家庭で行っていた様な気晴らしをメインに、ホームに馴染める様、計画をたてている(温泉レク・買物・散歩等)		利用者が早くホームに馴染む様、観察を強化しながらサービスを模索している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一日を過ごす中で、本人らしい言葉・行動に添いながら暮らしている		利用者を人生の先輩として尊敬し、経験の中から知恵を伝授してもらっている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が利用者本人との距離が遠くならない様、配慮している		入居するまでの家族の苦労・精神的な心労に対し、労いながら側面からの援助をお願いしている
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が来なかった期間をしっかりと記録し伝えるようにしている		それぞれの家族の、それぞれの関係を継続、あるいは再構築している
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	キーパーソンと相談しながら、なるべく馴染みの人に来てもらう様すすめている		訪ねて来てくれる人はいつでも拒まず、利用者が忘れていた時は職員が介入して会話を取り持つ等の支援をしている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	同居者同士が仲良くしている場面が多い(おかずを分けたり、布団を掛けてあげたり等)		職員が関わってコミュニケーション作りに努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームを退所して、在宅に戻った人も、デイサービスの利用等で継続している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意志の確認等、難しい事が多いが、日常的に言動から察して添っている		センター方式によるアセスメントの導入により、情報収集がしやすくなった
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人にとって、辛い生活歴だと思われる事が多い人の安心な暮らしを模索している		入所時にこれまでの職歴、生活歴の継続に努めている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	束縛せず、あまりのんびりせずという緩急を検討しながら努める		個別ケアを大切にしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	加齢、認知症状の進行を見極めながら、現状を維持できる様な計画をたてている		毎月、各棟でケアカンファレンスを行い、常に利用者、家族の意向を模索している
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日毎日の過ごし方の中から、症状の把握をしている		無理の無い現状に即した計画をたてている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常的に記録し、そのたびに検討している		業務に入る前に記録を確認し、利用者を把握し、ケア目標に対する評価は毎日チェックしている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームで家庭生活を完結するという難しい状態を実行している		隣接のデイサービスの中で対応できる支援を行っている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員からボランティアからの要請で入所した利用者も多い		防災、婦人消防団のボランティア
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	難しい		隣接のデイサービスを利用している
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会議で、行政の方の意見等も入れている		毎月、地域ケア会議に出席
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時、定期受診は全て掛かり付け医		誕生日に健康診断をしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	掛かり付け医に、認知症に深く関わっているDrがいて、定期的に受診している		入所前に、家族と話し合いをし、認知症状の度合いを把握している
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の配置により、協力医との連携が良好である		医療面での支援が行いやすくなった
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	掛かり付け医の判断で入院、症状により入院先の医師と相談		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族より意向を聞いて、職員全員周知している		終末期の判断は、掛かり付け医から家族へ通知してもらっている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだ、その場面はないが、職員の超過勤務、パートの起用等は考慮している		掛かり付け医の指示を仰ぐ様、話し合いが出来ている
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族の希望での住み替えであるが、ホーム側では本人へのダメージを極力防ぐよう努力している		転所の場合には、家族が事前に替わる施設を見学している。利用者の考えられる注意事項を申し送っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<input type="checkbox"/> プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない		<input type="checkbox"/> 入所時に、使って良い個人情報に扱っている 家族の意向に従い、取扱いに気を付けている
51	<input type="checkbox"/> 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		<input type="checkbox"/> 利用者自ら、食事の前後の家事に関わってもらっている 洗濯をたたむのは、殆ど利用者
52	<input type="checkbox"/> 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		<input type="checkbox"/> 食事時間等は、大体決まっているが、その他は個別である 散歩をする人、コタツに居る人、ベッドで横になる人、それぞれである
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<input type="checkbox"/> 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		<input type="checkbox"/> 美容院で髪を染めたり、パーマを掛けたりする人がいる 1ヶ月に2回、理容師が来てカットしてくれている
54	<input type="checkbox"/> 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている		<input type="checkbox"/> 職員と利用者が協同して盛り付けや後片付けをしている 敷地内で収穫した野菜を使ったもの、行事に合わせたメニューを楽しんでいる
55	<input type="checkbox"/> 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		<input type="checkbox"/> 食欲のある人ない人 糖尿病の人等、いろいろな利用者に合う様、努めている 飲み物の好みもそれぞれなので、個別に用意し、水分量確保に努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄リズムを把握し、なるべく布の下着で過ごしてもらえるようにしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間の制限のない入浴を実施している		入浴のすすまない人への声掛け、入浴剤を入れる等をしている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中体を動かさず、外気に当たる等で、夜間安眠できるようにしている		人の気配のある所で休みたい人の為に、ホールに布団を敷いて職員の見守りで寝ている人も居る
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの居場所で好きなようにしてもらっている		畑仕事、談話、TV鑑賞、体操、ドリルを解く、編み物等
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った時はカートを押してもらったり、会計をしてもらったりしている		個人で買う場合は、ホームで立て替え、後で家族に精算してもらう
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候によるが、良い日はほとんど外に出ている		ホームではボール遊び、散歩。外出した際は外食、花見、紅葉狩り
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	博物館、記念館、道の駅等に出掛ける		ふるさと訪問をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に交信できる様、配慮している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問、面会は自由にしてもらっている		訪問者の居場所は限定しない
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない		言葉も拘束するような言語は避けている
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていない(部屋にもつけていない)		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	無断で外に出る利用者、夜間トイレ後に居室が分からなくなった利用者それぞれ対応している		日中はデイサービス、事務、東西各棟でお互い連携を取りながら気を付けている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常的に目隠しのついたボックスに入れている		ベッドや角のあるものにはカバーをしている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	夜間定期的に見廻り、危険の無い様配慮している		ひやりハット・事故報告書等を回覧し、職員の注意を喚起している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、各棟の分かりやすい所に置き、職員は時間がある時見て、把握している		消防学校に行って講習を行った
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員が災害対応、避難訓練の実施、救急救命の講習を受け身につけている		訓練時、ボランティアの協力を実施
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族が訪問してくれた時、近況を伝えながら話している		履きやすい靴、歩きやすい靴。動きやすい服、着脱しやすい服等、観察し必要な物は家族と相談し購入してもらっている
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、行動の緩急、顔色等に気を配り、異常時は職員全員が把握している		看護師、医師への報告をして対応を伺っている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は必ず確認している		症状の変化は必ず看護師に報告し、医師との連携で指示を仰いでいる
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の量、食事の量を把握し、体を動かす事で予防している		利用者個人の体調により、便秘薬の調整
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝食前のうがい、三食後の口腔洗浄、夜間の入れ歯洗浄・消毒を毎日声掛け励行している		就寝前のハミガキ後、ポリデント使用

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの身体状況、心気状況に応じて、食事を摂取している	水分量、食事量の摂取の不安定な利用者の主・副・汁をバランスよく摂取出来るよう配慮している。毎月体重測定実施
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のワクチン接種は、家族の承諾を得て実施している	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾等、毎日漂白	まな板・包丁を食材別に使用している
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は明るく、チャイムで人の出入りには職員が対応する	玄関まわりに、季節のものが飾ってある
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下に余計な物は無く、つまづく事は無い。玄関の靴箱に季節ごとの飾り	トイレの便器には高低があり、利用者の使いやすい方を使用出来る様になっている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	エントランスに長イスがあり、自由に外気浴が出来る。ホールにはコタツがあり、横になったりTVを観たり、利用者は自己決定にて居場所を確保している	閉じこもり気味の利用者には居室から出るよう声掛けする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋は本人の意向のもの、又、危険の無い様、整理整頓に努めている		利用者の馴染みの物を持ってきてもらっている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	異臭には職員全員が敏感でいる様、申し合わせている		24時間換気をしている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	棟内で独自の運動が出来る様、メニューが組まれている		ホールへは腰をかけて足を上げる、四つんばいになったの昇降が出来る様にしている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱に根気強く添い、不穏な状況が長引かない様にしている		夜間はトイレ後、混乱を起し自室が分からない利用者には誘導する
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	入口のエントランスに長イスがあり、三々五々憩いの場としている		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

研修時の実践の取り入れ

図書の充実

申し送りの徹底